

松川町
生田地区防災
ハザードマップ

「まさか」の災害に、「もしも」の備えを



現在の間次川



三六災害

昭和36年(1961年)6月25日より降り続いた梅雨前線による集中豪雨により山崩れが頻発、各河川は急激に増水し氾濫しました。死者7名、重軽傷者41名、田畑の流失埋没約78ha、流失半壊家屋59戸、床上床下浸水995戸など多くの被害を受けました。



氾濫する天竜川

土砂に押し流された公民館

土砂災害により埋没する田畑

わが家の防災メモ

●避難所・避難場所			
●家族の集合場所・連絡先			
●緊急連絡先			
緊急連絡先	電話番号	緊急連絡先	電話番号

災害時の「声の伝言板」
災害用伝言ダイヤル「171」

伝言を録音する場合
171をダイヤル

伝言を再生する場合
2をダイヤル

連絡をとりたい被災地の電話番号を市外局番からダイヤル
0265-XX-XXXX

伝言をお読みください
伝言をお聞きください

※「171」はダイヤルするとガイダンス(録音説明の音声)が流れます。その指示に従って電話を操作していただければ、録音・再生が出来ます。
※録音の長さ:1分、録音回数:10回、録音の回数:10回、録音の回数:10回

減災グッズを備えよう! 1年に2回は、チェックしよう!

●非常時に備える3ステップ。まずは、1次から。ついで、0次・2次も。

0次の備え
いつかもーた!

非常持出品
1日の多くを過ごす場所には「非常持出品」を備えよう! とっさの時に、さっと持ち出せるものは、いつも使うバックや、ポケットに入れ、身につけてみよう! いつでも被災するかわからないため安心感を持ち歩こう。

1次の備え
非常持出品
家族や最優先……1日の多くを過ごす場所には「非常持出品」を備えよう! とっさの時に、さっと持ち出せるものは、いつも使うバックや、ポケットに入れ、身につけてみよう! いつでも被災するかわからないため安心感を持ち歩こう。

2次の備え
安心ストック
非常時、ライフラインが途絶え、もしも助けの手が届かなかったとしても、何日かは自給自足してしのげる物品を備えよう!

●被災の1日、命が安全なところに逃げるときに、これだけは持っていきたい、という最低限の備え。
●食糧など消費品は、少なくとも3日分は確保しよう。
●ライフラインが止まった家で、生き残ることになるかもしれないため、安心セットをしよう。

✓非常持出品のチェック表 避難が必要になったときにすぐ持ち出せるよう、普段から準備、点検しておきましょう。

リュックサック	カンパン(缶詰)	缶	下着・上着・靴下等	おむつ
携帯ラジオ	栄養食品(3日分)	ばんそうこう	ティッシュペーパー	缶切り、銚子
懐中電灯	解乳食	目薬	車手・タオル	プラスチック製の皿
現金	粉ミルク	鎮痛剤、解熱剤	歯ブラシ	コップ、わりばし
乾電池	ドライブーズ(3日分)	歯薬、歯磨剤	筆記用具	ヘルメット・帽子
免許証	飲料水	消毒薬	ウェットティッシュ	主理用品
保険証、権利証	レトルト食品	常備薬	ライター	
預貯金簿、印鑑				

※冬期は防寒の準備

地震 災害マニュアル

安全対策10か条

1 まず身の安全を!
ケガをしたら火の始末や避難がとれてしまいます。家具の転倒や落下物は充分な対策を。

2 すばやく火の始末
揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。

3 戸を開けて出口の確保
地震でドアが開かなくなると、戸を開けて避難口の確保を。

4 火が出たらすぐ消火
万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。

5 あわてて飛び出さない
飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。

6 狭い路地やブロック塀には近づかない
ブロック塀や自動販売機は倒壊の恐れがある。すばやく避難を。

7 協力して緊急救助
地域ぐるみで協力して緊急救助の体制を。

8 山崩れ、がけ崩れに注意
厚住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。

9 避難は徒歩で
マイカーでの避難は危険なうえ緊急救助の障害になる。ルールを守り心のゆとりを。

10 正しい情報を聞く
事実をひとつ。間違えた情報にまどわされず的確な行動を。

case 1 地震発生と同時にタンスが倒れたが、寝室には大きな家具を置いてなかったのが助かることができた。
▶▶▶ **ポイント** 家具の転倒防止と家の中に安全なスペースをつくるのが大切。

case 2 玄関ドアがゆがんで、家の中に閉じ込められた。窓ガラスを割って外へ出る事ができた。
▶▶▶ **ポイント** 鉄製などの玄関ドアは注意が必要。玄関以外にも脱出する場所の確保が大切。

case 3 家の倒壊で下敷きになり、動くことができなかったが、近所の人協力で助け出された。
▶▶▶ **ポイント** ふだんから地域とふれあい、互いに助け合う地域づくりが大切。

case 4 地震発生後、うわさやデマが流れたが、ラジオからの情報で惑わされなかった。
▶▶▶ **ポイント** ラジオ、テレビ、防災無線などで正確な情報を得て、行動することが大切。

「土砂災害」を知る

土砂災害は、がけ崩れ・地すべり・土石流といった自然現象で地震や雨により発生しやすくなります。

警戒区域と特別警戒区域の設定

基礎調査により

土砂災害警戒区域(通称:イエローゾーン) 土砂災害特別警戒区域(通称:レッドゾーン)を設定します。

警戒区域イエローゾーン
土砂災害のおそれがある区域
●地形条件で設定する
・過去に発生した災害の実態から定められた地形の条件
○急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
・傾斜度が30度以上、高さ5m以上の区域
・急傾斜地の上部から水平距離が10m以内の区域
・急傾斜地の下部から急傾斜地の高さの2倍の区域(等高線50m)
○地すべり区域
・地すべりしている区域または地すべりする恐れがある区域
・地すべり区域の下部から地盤ごと動き出す区域の長さ(最大250m)の区域
○土石流
・土石流の発生のおそれがある渓流において、扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域

特別警戒区域レッドゾーン
建築物に損壊が生じ、住民に著しい被害が生じるおそれがある区域
土砂等の力と建築物の耐力を算出し、比較判断により設定する

急傾斜地の崩壊(がけ崩れ)
がけ崩れは、急な斜面が大雨や長雨によって緩み、突然崩れ落ちる現象で、避難が滞りがちになります。

地すべり
地すべりは、広い範囲の地盤がゆっくりと動き出す現象です。速度は緩やかですが、発生すると大きな被害をもたらします。

土石流
土石流は、谷や渓流から、土砂や石、木を食んだ濁流が一気に下流へ押し流れる現象です。速度が速く大きな破壊力を持っています。

■前兆現象
○がけが崩れやすくなる。
○がけが崩れやすくなる。
○がけが崩れやすくなる。

■前兆現象
○地面がひび割れやすくなる。
○水が井戸の水が濁る。
○斜面が崩れやすくなる。

■前兆現象
○山が揺れる。
○雨が降り続いていると、川の水位が上がる。
○川の流が滞ったり、濁水が流れてくる。

災害時等の情報伝達経路



防災無線の確認方法
■戸別受信機で確認
戸別受信機で、防災無線の放送内容が再放送されます。
■一音の「再生」ボタンを押すことで確認することができます。
■チャンネルYOUデータ放送で確認
12chのチャンネルYOUデータ放送(12ch)で、町が発令した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。
■町からののお知らせから確認することができます。

■アプリ(JC-Smart)で確認
アプリで、町からの「緊急情報」、「町からのお知らせ」、「CATVからのお知らせ」についてご覧いただけます。
■チャンネルYOUデータ放送で確認
12chのチャンネルYOUデータ放送(12ch)で、町が発令した避難勧告等の避難情報を文字情報として確認することができます。
■町からののお知らせから確認することができます。

■登録制メールサービスで確認
メールアドレスを登録することにより、町の防災情報をメールで受信できます。
■登録を行う前に「jyouhou-station.jp」からのメールを受け取れるように設定してください。
■登録方法 QRコードをスキャンし、登録用Webページにアクセスします。(http://panasender.jyouhou-station.jp/)

気象情報・防災情報

長野地方気象台	気象庁	松川町気象観測サイト
長野県 河川砂防情報ステーション	国土交通省 川の防災情報	気象庁 土砂災害警戒情報

URL: <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>
<https://www.jma.go.jp/>
<http://matsukawa-api1.weather-server.com/>
<https://www.sabo-nagano.jp/>
<https://www.river.go.jp/>
<https://www.jma.go.jp/jp/dosha/>

スマホ版
川の防災情報 (スマホ版)
川の防災情報 (English)
川の水位情報

災害への備え

避難情報の発令

松川町では、災害が発生するおそれがある時、または発生した時に、避難に関する情報を発令します。なお、水害・土砂災害の場合には、下記のとおり、「警戒レベル」を付け加えてお知らせします。(町から警戒レベル3または警戒レベル4が発令された地域にお住まいの皆さんは、速やかに危険な場所から避難してください)

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
警戒レベル5 大雨特別警戒情報 氾濫発生情報	災害発生情報 [町が発令] 注:必ず発令されるものではありません	既に災害が発生している状況です。 命を守るための最善の行動をとりましょう。 避難中の人は、大至急、近くの安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル4 土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	避難勧告・避難指示(緊急) [町が発令] 危険な場所から 全員避難	速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。
警戒レベル3 大雨・洪水警戒情報 氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始 [町が発令] 危険な場所から 高齢者等避難	避難に時間を要する人(高齢者の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は避難しましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。
警戒レベル2 大雨・洪水注意情報 [気象庁が発令]		避難に備え、ハザードマップ等により自らの避難行動を確認しましょう。
警戒レベル1 早期注意情報 [気象庁が発令]		災害への心構えを高めましょう。

避難するタイミング

- 明るいうちに
- 暴風になる前に
- 異常を発見したら (がけ崩れの兆候、河川付近では水位の上昇など)

適切な避難行動をとりましょう

洪水や土砂災害などで自宅が危険なときは、避難所に避難するという行為はもと重要ですが、実際に災害が直前に迫って、時間的な猶予がない場合などには、避難行動をとることが、逆に危険を招くこともあります。状況に応じて行動しましょう。

立ち退き避難(水平避難)
避難所など安全な場所に避難すること

自宅や近隣の丈夫な建築物の2階などに避難すること

一人一人が自らの判断で避難行動をとることが原則です。災害から命を守るためには、自分の地域や身の回りの危険な場所を事前に確認して、いざという時にどのような避難行動をとればよいかわかりやすくお伝えします。

警報級の可能性 大雨に関する気象情報

大雨特別警戒情報の発表基準
台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合。

大雨注意報・警報の発表基準
大雨によって災害が起こるおそれがあると予測される場合。
大雨警報 大雨によって重大な災害が起こるおそれがあると予測される場合。

発表基準(浸水害) 表面雨量指数 5 (土砂災害) 土壌雨量指数 97
発表基準(浸水害) 表面雨量指数 10 (土砂災害) 土壌雨量指数 146

※表面雨量指数とは、降った雨が地表にどれだけ溜まったかを、数値化したもの
※土壌雨量指数とは、土壌中に貯まっている雨の量を土壌浸透や流出等を用いて計算したもの

土砂災害警戒情報
大雨による土砂災害発生危険度が高まった時、町長が避難勧告等を発令する判断の判断や住民の自主避難の参考となるよう、長野県と長野地方気象台が共同で発表する情報。

大雨	気象庁が発令する情報	とるべき行動
数日から約1日程程度 大雨の可能性が高くなる	土砂災害 浸水害 洪水害	気象情報・空の変化に注意
半日～数時間前大雨始まる		
強さ増す	大雨注意報 大雨警報 大雨特別警戒情報 大雨特別警戒情報	最新の情報に注意して、災害に備えた早めの準備を! 雨・風の影響を受けやすい地区・避難困難者は早めの行動!
数時間前～2時間程度前		松川町が発令する避難に関する情報に注意し、必要に応じて避難!
大雨が一層激しくなる		ただちに命を守る行動をとる! 避難場所へ避難するか、外出することが危険な場合は家の中で安全な場所にとどまる
数時間に一度の大雨		

雨の強さと降り方	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10～20	やや強い雨	ザーザーと降る。	この程度の雨でも長く続くときは注意が必要。
20～30	強い雨	どしゃ降り。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる。
30～50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり、危険な場所では避難の準備が必要。
50～80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴゴゴと降り続く)	マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生するおそれ強く、重大な警戒が必要。